

# Strands



Strandsはディレイ/マイクロルーパー。タイムストレッチとテーパールーパーの2つのメインの動作モードがあり、それぞれ4つのバリエーションがあります。ディレイペダルのように、短いオーディオをループしたり、少しずつ変化していくリズムカルまたはメロディックなパターンを構築したり...

ディレイタイムとループできる時間に影響する全体のメモリーサイズは、fidelityノブで設定します。上げると音質も上がりますがメモリーサイズは減少し、逆もしかりです。メモリーは1秒以下から3秒を少し超えるくらいまで設定できます。fidelityノブはサウンド処理においても影響し、フィルターレンジ、LFOのような時間ベースの要素のレスポンス、エンベロープ検知も変化していきます。

左フットスイッチで現在のバッファ内にあるレコーディングをループします。ループした信号は再度バッファに入るため、数分後には劣化していきます。これはfidelityノブも影響します。

# Controls



## repeats

リピート回数/フィードバックを設定。

## tone

ローパスからハイパスへ変化するティルトEQ。

## wet/dry

ウェットとドライ信号の音量を設定。ユニティは12時です。

## length

サンプル全体の長さ。実際の機能は選んだモードによって異なります(モードのリストで説明します)。

## fidelity

高い設定では高音質で短いバッファサイズ、低い設定ではローファイかつ長いバッファサイズで更にノイズも混ざります。

## direction/rate

実際の機能は選んだモードによって異なります(モードのリストで説明します)。

## trails

有効にすると、ペダルをバイパス時にリピートが自然にフェードアウトします。エフェクトで生成されたノイズもバイパス時に全て残るので、注意してください。

## exp

EXP入力でfidelityまたはdirectionのどちらを制御するかを決定。

## mode selector

Strandsの8つのモードを切り替えます。モードを切り替えるとバッファはクリアされ、loopフットスイッチはオフへリセットされます。

## On footswitch

ペダルのオンオフ。

## Loop footswitch

バッファ内の現在の録音をループします。

どちらのスイッチも、ラッチまたはモーメンタリーで動作します。0.3秒以下の短いタップでは、通常のラッチ動作となります。0.3秒以上押すとモーメンタリー動作となります。

# The time stretch modes

## stretch

オーディオをストレッチするモード。directionノブでストレッチ量と再生方向を決定します。最大のストレッチは12時辺りです。12時から右ではサンプルは順再生、12時から左で逆再生になります。lengthノブは互いにオーバーラップするグレインのサイズを決定します。

## async

stretchと同様ですが、タイムストレッチ時の2つのバッファが僅かに異なるサイズを持ち、それぞれ微妙にズレて漂流することで非同期的なサウンドを作ります。lengthノブは互いにオーバーラップするグレインのサイズを決定します。

## lfo

ストレッチと同様ですが、ストレッチの量と方向が逆再生から順再生へ絶えず変化し続けていきます。レートはdirectionノブで設定します。lengthノブは互いにオーバーラップするグレインのサイズを決定します。

## random

ストレッチと同様ですが、ストレッチの量と方向がランダムに変化し続けます。レートはdirectionノブで設定します。lengthノブは互いにオーバーラップするグレインのサイズを決定します。

# The tape modes

## tape

短いループを録音し、directionノブで再生速度と再生方向を決定します。

左から右に、設定は以下です。

逆再生 - 二倍速、1オクターブ上

逆再生 - 5度上

逆再生 - 通常の数度、ユニゾン

逆再生 - ハーフスピード、1オクターブ下

順再生 - ハーフスピード、1オクターブ下

順再生 - 通常の数度、ユニゾン

順再生 - 5度上

順再生 - 二倍速、1オクターブ上

lengthノブでサンプルのサイズを設定します。

## old

directionノブで再生速度と再生方向を決定します。12時で再生ストップ、12時から左で逆再生、右で順再生になります。

lengthノブは再生の解像度劣化を制御します。上げるにつれサウンドはダークかつ揺れていきます。

## env

directionノブで再生速度と再生方向を決定します。12時で再生ストップ、12時から左で逆再生、右で順再生になります。

再生速度は入力されるオーディオの強さに影響されません。lengthノブで設定したスレッシュホールドをオーディオが下回るとき、再生が停止します。スレッシュホールドを超える強さで入力された場合、再生は通常の数度になります。

## random

再生速度と方向はランダムに異なる設定へジャンプします。レートはdirectionノブで決定します。

lengthノブはサンプルのサイズを決定します。

## Recap of the controls for each mode:

	length	direction
stretch	サンプルサイズ	ストレッチ量/方向
async	サンプルサイズ	ストレッチ量/方向
lfo	サンプルサイズ	LFOレート
random	サンプルサイズ	S&Hレート
tape	サンプルサイズ	再生速度/方向
old	解像度劣化	再生速度/方向
env	エンベロープ感度	再生速度/方向
random	サンプルサイズ	S&Hレート



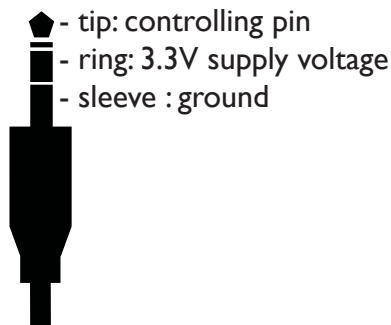
## EXP input:

EXPペダルまたはコントロール信号(CV)を使ってdirectionとfidelityの制御が可能です。

外部のEXPデバイスがペダルに接続されている場合、directionまたはfidelityノブはノブはEXP入力の最大値を決定します。標準的なTRSプラグを使ったEXPペダルやデバイスならほとんどが問題なく使用できます。抵抗値10kまたはそれ以上がベストです。

EXP入力にはTS(モノラル)プラグまたはケーブルは使用しないでください。ペダルを損傷する可能性があります。標準フォンのTRS(ステレオ)ケーブルのみご使用ください。

以下が標準的なTRSコネクションです。



EXPの代わりにコントロール信号(CV)を使う場合、3.3Vを超えないようにしてください。ringをフローティングさせたTRSケーブルが必要です。

EXP入力にその他のデバイスを繋ぎたい場合は、別途お問い合わせください。

## Power Supply:



このペダルは9VDCセンターマイナスのパワーサプライで動作します。最も多くのギターペダルで使われている電源タイプですが、電圧と極性は常に確認をしてください。

ペダルに高い電圧を入力しないでください。

このペダルは高周波で動作するデジタルプロセッサーを使っているため、アイソレートされていないパワーサプライやデイジーチェーンで使う場合は少しノイズが乗ることがあります。これはペダルをバイパス時にも発生します。

これはデジタルプロセッサーを持つペダルでは一般的な問題です。アイソレートされた電源を使うことがベストな解決方法です。

## Specs:

Input Impedance: 1M $\Omega$

Output Impedance : <1k $\Omega$

Current : 100mA

Dimensions : 127mm x 95mm x 56mm

Thanks, and enjoy!

david@drolofx.com

<https://www.drolofx.com>